

平成29年度 予算を

徹底審議

予算特別委員会 主な質疑 答弁



平成29年度予算については、議員全員で構成する予算特別委員会で審議し、町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中の主なものを紹介します。

半になっても
思いは一緒



地産米による 乳幼児食育推進事業

Q 10ヵ月健診受診時に提供している10キログラムの米を、予算では5キロにするとした。事業の趣旨を考えると、減量は理解できない。

A この事業は、食育や地産地消を推進していく事業であり、平成27年度は、対象者261人のうち、231人が地産米の提供を受けた。財政が厳しい中、新規事業の立ち上げを図るためにも、諸事業の見直しが求められる。また10キロは重いとの意見もあり、5キロに減量しても事業の趣旨は果たせると判断した。

大学との連携協力で
健康増進



生活習慣病予防改善事業

Q 高崎健康福祉大学との連携を図って事業を進めるとしているが、具体的な内容は。

A 40歳から65歳を対象に町が実施する特定健診受診者の中から、生活習慣病の保健指導が必要とされた方に、活動量計を配布し、運動量等のデータを収集する。活動量計は30台用意し、集めたデータを大学に提供し分析してもらう。その結果をもとに効果的な運動指導や栄養指導を実施することにより、生活習慣病の改善を図る。

残したい
町の原風景



景観まちづくり事業

Q 景観まちづくり事業の進捗状況と、今後の工程はどうなっているのか。

A 景観計画の策定は、平成28年度・29年度の事業である。平成28年度はアンケートや現況調査、委員会の組織化等を進めており、3月末までに基本目標を作成する。平成29年度は景観区域の指定や、制限すべき行為の検討などを行い、景観計画を策定する。あわせて景観条例の制定に向けた作業も進めていく。

反省点を生かし
新たな取り組みも



花火大会

Q 花火大会の予算が増額されているが、その理由は。また町制施行60周年記念として、新たな取り組みはあるか。

A 昨年度の反省から、新規駐車場を確保するため、駐車場と会場を結ぶシャトルバスが増便となる。また、路上駐車対策強化として警備員も増員するため、予算が増額となった。新たな取り組みとしては、観覧機敷席を100区画整備し、販売する。そのうち20区画はふるさと納税者に割り当てる。

住みたくなる町へ
未来を描く



玉村町版生涯活躍のまち 推進事業

Q 予算が1400万円計上されているが、今年度の進捗状況と新年度の具体的な事業の内容は。

A 平成28年度は、たたき台となる構想を策定している。平成29年度は玉村町独自の「生涯活躍のまち」の事業計画を策定する。具体的には、町内及び周辺地区の企業の求人ニーズ調査、東京圏の若者層・シニア層の転職・移住支援に関するニーズ調査等を実施。役場内の研究チーム及び有識者からなる組織等を立ち上げて検討を進める。

タクシー料金補助で
たまりん縮小?



交通弱者対策事業

Q 高齢者等へのタクシー券配付の実証実験は、どのように進めるのか。また、たまりんはどうなるのか。

A 高齢者の交通手段を確保するため、タクシー料金の一部補助を行う。実証実験の期間は平成29年10月から平成30年3月まで。75歳以上の方と65歳以上で運転免許証を返納した方を対象に、申請により1回500円のタクシー券を半年分(24回)配付する。乗合タクシーたまりんについては、一部の路線を残して再編したい。